

事業の実績	
2017年8月28日	山都町庁舎を訪問、インタビュー調査実施
2017年9月15日	美里町砥用庁舎にて地域活性化企画案の報告会を実施
2017年10月30日	「ひのヒットデータソン」を開催：学生、自治体職員、IT企業エンジニア等が参加
2017年10月18日	美里町公共施設ストリートビュー撮影・コンテンツ作成
2017年11月24日	UDCアーバンデータチャレンジ2017 中間シンポジウム（金沢）
2017年12月10日	ジビエ料理研究会（秋津公民館）
2018年1月20日	くまもと農家ハンター&ジビエサミット
2018年1月21日	くまもと農家ハンター&ジビエサミット：囲い罠設置現地実習
2018年2月24日	UDCシンポジウム&最終審査会：東京大学駒場キャンパス（生産技術研究所）
2018年3月2日	くまもと産業復興支援プロジェクトフォーラムに出展：グランメッセ熊本
具体的な成果	
	<p>① 本研究及び活動は、地域創生をテーマにするFW演習に源がある。「ひのヒットデータソン」で鳥獣害が中山間地域で大きな問題となっていることを確認し、ジビエの有効活用が解決方法のひとつであると提案した。ジビエの流通拡大と消費拡大を目指すことにした。このイベント内容が熊本新聞に掲載されたことで、くまもと農家ハンターとの共同活動は、県農政課・熊本農政局・熊本財務局などにも広がり関心を集めた。</p> <p>② ジビエ料理研究会は、秋津公民館が公開講座として取り上げ、施設を無料で提供。参加者約25名、出来栄の良い料理を辻料理学校主催「ジビエ料理コンテスト」に応募。ジビエが臭い・硬いというイメージを払拭し、美味しく食べることでできる肉であることを知って貰った。</p> <p>③ 第4回くまもと農家ハンターは、全国から120名超の参加者を集めた。鳥獣害が熊本だけの問題ではなく全国規模の問題であることを多くの人に知ってもらうことが出来た。このイベントは、新聞・テレビなどの複数のメディアで報道された。囲い罠設置現地実習は、学生・市民の一般参加で行い、捕獲が如何に難しいかなどを学んだ。</p> <p>④ ストリートビューのコンテンツ作成は数年前から手掛けているもので、今回は美里町と山都で実施した。特に美里町砥用地区の9施設のインドアビューのヒット数は、期待以上の成果があった。美里町職員から大いに感謝されている。</p> <p>⑤ これらの活動全体は、UDCアーバンデータチャレンジ2017の活動の一環として行ってきた。クマガクGPとしては、3つのアクティビティ（1:きくちインドアビュー、2:みさとデジデバ対策、3:鳥獣対策）を応募し、アクティビティ部門でファイナリストに選ばれた（222グループ中6位）。</p> <p>⑤ 鳥獣害対策を「くまもと産業復興支援プロジェクトフォーラム」に出展したところ、北陸先端科学技術大学スタッフから、金沢で開催される「地域連携フォーラム」に出展の要請があった。</p> <p>以上、クマガクGP「オープンデータを活用した地域創生」が全国的に知られるようになった。</p>